

高等学校
では！

→ **キャリア・パスポート**
こんなふうにご利用されています！



全県的なキャリア・パスポートの運用が始まり、4年目に入りました。学校訪問の際に、各教室に掲示されたシートが目に入ります。子どもたちの素直な表現と教師や保護者のメッセージが記入されており、各校が独自性をもって計画し作成してくださっていると感じています。参観後の協議の中で、キャリア・パスポートの作成やその活用について伺ったところ、「小学校や中学校では、工夫しながらキャリア・パスポートを作成し、将来に活かせることを目指して取り組んでいるが、高校ではどのように活用されているのだろう。」という声が複数校から聞こえてきました。

そこで、今回は、高等学校課から聞き取った高校での活用事例を御紹介します。



小・中学校から引き継いだ内容の活用

【面談時】

- (生徒) ・入学後の目標設定に活かす。
- ・これまでの進路志望のルーツを探り、これからの進路を考える。
- (教員) ・義務教育段階の学びを高校教育へ確実に引継ぐ。

【成果物の比較】

- (生徒) ・LHRや探究活動で制作した作品等の成果物を綴り、小・中学校の頃の自分と比較する。

【生徒自身の振り返り】

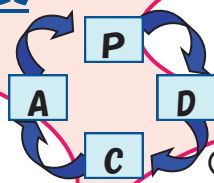
- ・自己の成長の把握。
- ・学校行事の際に、義務教育段階での同様の活動時の記録を確認する。
- ・定期的に関くことで、自己の変容を確認する。

【インターンシップやボランティア活動等の前に】

- (教員) ・高校の教育活動の観点やねらい、学び方を指導する。
- ・小・中学校での職場体験等との比較をすることで、課題や目標を明確にもたせる。

高等学校での学びの蓄積

- 目標設定と達成状況の記入
- 振り返りと次の目標設定



- 探究活動とのリンク
- 将来の姿をイメージさせる活動
- 将来の進路選択のための資料

自己調整
自己理解



- 基礎力診断テストなどの記録や振り返りの記入
- 学校行事や講演会等による自身の成長についての記録
- 自己分析や具体的な志望理由を考える場面に活用

自己分析 マネジメント力

キャリア・パスポートは、「キャリア教育に関わる諸活動について、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオ」として導入されました。子どもたちの将来に向けて活用され、子どもたちが「キャリア・パスポートを作成していてよかった」と思えるようなものにしていきたいものです。